

# 道づくりだより

第21号

2009. 11 島根県道づくり調整会議



斐川IC～出雲IC間 ウォーキング大会で、高速道路上を歩く参加者

## CONTENTS

1. 山陰自動車道 斐川IC～出雲IC 開通
2. 9県知事共同で高速道路の早期整備を要望
3. 長沢バイパスの一部供用開始について
4. 『都市計画道路 出雲市駅前矢尾線』の完成式が行われました
5. 今冬の除雪体制について

# 山陰自動車道 斐川IC～出雲IC 開通



西日本高速道路(株)により建設が進められていた、山陰自動車道斐川IC～出雲IC間13.6kmが、11月28日(土)に開通しました。これにより、松江市内から出雲市内までの所要時間は従来よりも約10分短縮され、救急医療体制の強化、観光客の増加、農林水産物の販路拡大など、様々な効果が期待されています。

開通式は、知事や県選出国會議員、地元市町長ら約200人が出席して行われました。テープカット、くす玉割りの後、乗用車やバス32台で通り初めし、地元地権者の方々とともに待ちに待った開通を祝いました。



今回開通区間



開通直後の出雲 IC 付近

## 通行料金

斐川IC～出雲IC間では、当初計画（協定上の完成予定年月日：平成22年3月31日）より早期に開通可能となったことに対する沿線の方への感謝と、一層の利用促進のため、下表のとおり通常料金に対して『早期開通割引』が実施されます。

実施期間 平成21年11月28日15時から平成22年3月31日24時まで  
 対象時間 終日（24時間）  
 対象車両 出雲ICを発着する全ての車両  
 割引適用後の料金及び割引額 割引対象区間の通常料金の最大半額を割引

### 開通区間の料金

区間	料金等	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車
出雲IC ～ 斐川IC	通常料金	450円	500円	600円	750円	1,100円
	割引後料金	250円	250円	300円	400円	550円
	割引額	200円	250円	300円	350円	550円
出雲IC ～ 松江玉造IC	通常料金	850円	1,050円	1,200円	1,600円	2,550円
	割引後料金	650円	800円	900円	1,250円	2,000円
	割引額	200円	250円	300円	350円	550円

ETC時間帯割引など、その他の割引についてはすべて重複適用するものとし、本割引を適用した後の料金に対して他の割引が適用されます。

## 開通区間の様子



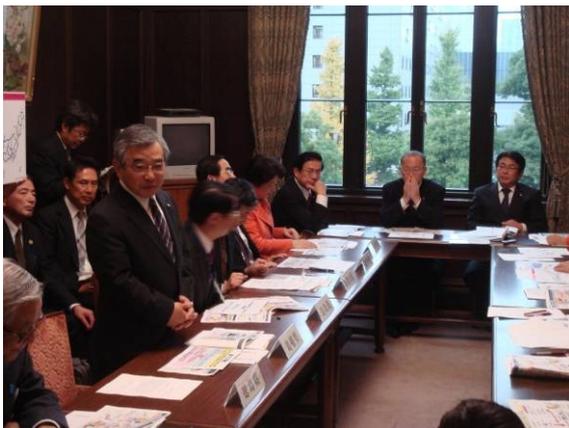
## 9 県知事共同で高速道路の早期整備を要望

「第一次的高速道路ネットワークの早期連結を目指す9県知事会議」

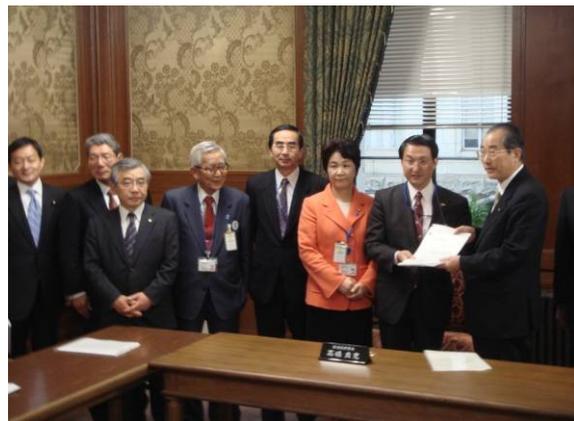
平成 21 年 11 月 19 日(木)、溝口知事は高速道路の整備が遅れている 9 県で結成した「第一次的高速道路ネットワークの早期連結を目指す 9 県知事会議」で民主党本部及び国土交通省を訪れ、高速道路の早期整備を要望しました。

「第一次的高速道路ネットワーク」とは、国の骨格を形成するために最も早く整備されるべきインフラですが、一部地域にはいまだに欠落箇所が存在し、地域は疲弊しています。「地域主権」を進め、地域が自立・発展するためにも、国民全体の公平性の観点からも、この欠落箇所を一刻も早く連結することが必要であり、同じ認識の 9 県の知事が連携し、政策提言を行いました。

馬淵国土交通副大臣との面談において、知事は「高速道路は、教育、福祉、医療と同様の機能を有しており、国民が等しく受けるべきサービスである」「高速道路がつながっていなければ、企業誘致や医療など多くの面で問題が発生することから、単に短い区間の費用対効果だけではなく、長期的かつ広い観点から高速道路問題を捉えるべき」と述べ、山陰道や尾道松江線の早期整備の必要性を強く訴えました。



「道路のネットワーク化推進議員懇談会」との意見交換



民主党幹事長室への政策提言



馬淵国土交通副大臣との面談



馬淵国土交通副大臣との面談

参加県：山形県、福井県、和歌山県、鳥取県、島根県、徳島県、愛媛県、高知県、宮崎県  
提言書の内容等の詳細は事務局の鳥取県(道路企画課)ホームページに掲載されています。

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=122285>

## 長沢バイパスの一部供用開始について

益田市長沢町地内において、一般国道488号長沢バイパスを整備中ですが、このたび、長沢トンネルが完成し、全体計画延長3.2kmのうち約1.4km区間を平成21年11月2日に供用開始しました。

本工区は、幅員が狭く、急なカーブの続く交通の難所となっており、道路利用者にとって非常に危険な状況となっていました。この開通により、益田市中心部と中山間地域とのアクセスが向上するとともに、通勤通学をはじめとする地元交通の安全性が確保され、地域の活性化にも大きく寄与するものと期待されます。また、残る約1.8kmの区間についても、平成20年代中期の完成を目標に事業を推進してまいります。



### 【事業概要】

事業期間 平成16年度～平成21年度

延長 約1.4km

道路規格 3種3級

設計速度 50km/h

幅員 7.5m(6.0)m

主要構造物 長沢トンネル L=1038m

内空断面積 約47.4m<sup>2</sup>

施工方法 NATM

新柿原橋 L=11.2m

秋冷橋 L=12.4m

工事中的の見学会の様子

## 『都市計画道路 出雲市駅前矢尾線』の完成式が行われました

道づくりだより17号で紹介しました都市計画道路出雲市駅前矢尾線（主要地方道出雲市停車場線）の完成を祝して、平成21年10月12日（土）に完成式が行われました。式では長岡出雲市長、布野土木部次長をはじめ、11人の出席者がテープカットを行い、通り初めをしました。

当日は毎年恒例の「夢フェスタ in いずも」が完成した出雲市駅前矢尾線を使用して行われました。今後もJR出雲市駅と出雲市役所を結ぶ出雲市のメインストリートとして、市民に親しまれるものと期待しています。

事業概要につきましては「道づくりだより17号」をご覧ください

## 開通式の様子



式典で挨拶する布野島根県土木部次長



音楽隊と共に通り初めを行いました



あいにくの雨模様でしたが、テープカットにあわせて天候が回復しました。



開通式後、当日出雲市駅前矢尾線を使用して開催された「夢フェスタ in 出雲」で餅まきを行いました

# 今冬の除雪体制について

## 【今年度の除雪体制】

島根県全体で229路線2,907.8kmを県保有機械117台(うち除雪機械80台、凍結防止剤散布車(機)35台、歩道除雪車2台)業者保有機械292台、市町村保有機械55台の計464台で除雪を行う体制を整えています。

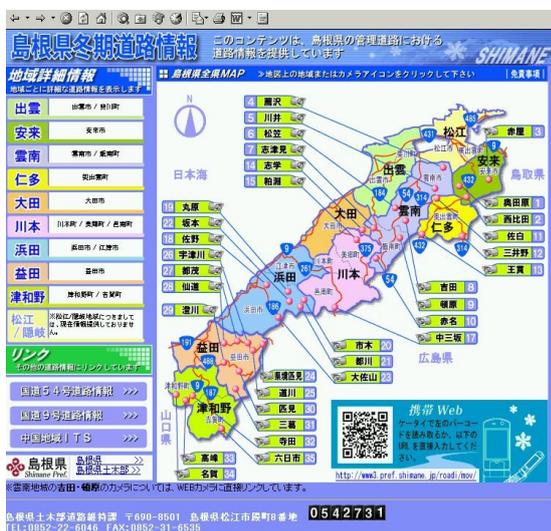
大田管内では、建設業協会で組織される組合に管内のほぼすべての路線を一括して除雪業務を委託する方法を試験的に行います。これは各業者間での相互協力を図り、効率的な除雪作業が行えるようにするために行うものであり、今後効果について検証していく予定です。

## 【除雪機械の増強について】

近年、業者保有機械の減少により現状の除雪体制を維持していくことが困難な状況になってきているため、平成21年度は国庫補助事業、経済対策事業を利用して特別に県保有機械の増強を15台行いました。

## 【冬期道路情報について】

今年度も12月1日より島根県のホームページより冬期の積雪状況等の映像を公開します。



冬期の積雪状況等の映像をホームページで公開しています

<http://www3.pref.shimane.jp/roadi/index.html>